

総合的な学習の時間（第5学年）

テーマ【身のまわりの環境を考えよう】

阪南市立下荘小学校

《学習のねらい》

- ・自分のまわりの環境を知ること、身近な問題として環境をとらえ、解決への方法を考えていこうとする態度を育てる。

《取組みについて》

① 世界の環境問題を知ろう

砂漠化問題・森林減少・絶滅危惧種など、世界の環境問題を調べ、新聞を作りました。特に砂漠化問題については、強く関心を持つことができました。この学習を通して、身近にも環境問題があるのではないかと考えることができました。

② 水育～未来に水を引き継ぐために～

サントリーホールディングスの出前授業プログラムを活用し、川や海に流れる水の循環の仕組みや、地球上で使える水が少ないことを学びました。

きれいな飲み水を確保するためには、『水を育む森』を作っていかななくてはいけないということ子どもたち一人ひとりが理解し、そのためにしなければならないことは何かについて、考えました。

③ かにの道～せんなん里海公園にて～

大阪湾の環境保全・水質改善に大きく関わっていたアマモの森を復活させるために、アマモの種をまきました。

里海公園には、陸ガニを守るための森があり、その森を守る「うみべの森を育てる会」の方々に案内してもらい、様々な生物がいることを知りました。また、その森の中にカニが産卵するための水路をどこに通すかについて考えていくことができました。



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

サントリーホールディングス株式会社「サントリー 水育」・岸和田土木事務所
ボランティアグループ「うみべの森を育てる会」

《成果》

- 身のまわりの環境のために何が出来るかということを考えていくことができた。児童からは、身のまわりの環境のために「自分なら何が出来るか」を考え、海岸のゴミ拾いや、身近な物のリサイクルを続けることが出来るのではないかという意見が出た。自然環境保全について、身近な問題として捉え、行動につなげるきっかけとなった。